

プレス発表資料



平成 29 年 6 月 16 日
秋 田 大 学

南部アフリカ・ボツワナに事務所を開設 資源学の研究・教育拠点に 国内の大学では初

秋田大学（山本文雄学長）は南部アフリカの資源国・ボツワナに、「秋田大学ボツワナ事務所」を設置します。事務所は、秋田大学の協定校となっているボツワナ国際科学技術大学（BIUST）内に置き、6月28日（水）に現地で開設式典を行います。秋田大学からは山本学長、事務所運営の主体となる秋田大学国際資源学教育研究センター（ICREMER）長の川村洋平教授（資源開発）らが出席します。

ボツワナ事務所には、ICREMER担当の教員が、長期出張の形で駐在する準備を進めております。事務所はBIUSTの科学実験棟1階に置き、約60平米。講義室と事務スペースがあります。ここでは南部アフリカでの調査研究・教育活動や、テレビ会議システムによる遠隔授業などを行います。また、秋田大学国際資源学部の学生全員が3年次に行っている海外資源フィールドワークでは、アフリカ諸国も活動の舞台（昨年度、ボツワナ3名、南アフリカ9名、スーダン4名）になっており、ボツワナ事務所はフィールド拡大の拠点となります。事務所設置後はICREMERを中心とした国際資源学部の教員による現地での集中講義などが計画されています。

28日の式典は午前11時（日本時間28日午後6時）から。日本側からは山本学長、在ボツワナ大使館の滋賀正樹・参事官らが出席、BIUST側からは学長 Otlogetswe Totolo らが出席し、調印式、事務所開設セレモニーを行います。

日本全国の大学も世界各地に海外拠点を設置するなどの活動を展開していますが、ボツワナ国内に拠点を設置するのは秋田大学が初めて。目覚ましい経済発展から「ボツワナの奇跡」と呼ばれる同国は、世界有数の資源産出国としても注目されています。27日～28日には、在ボツワナ日本大使館が、「ボツワナ投資環境」を考えるセミナーを現地で開催し、日本側から20以上の企業団体が参加します。秋田大学は、このセミナーに参加してボツワナを舞台にした産学連携を協議するほか、山本学長とボツワナ政府要人との面談・協議を最終調整しています。

Office of AKITA university



BIUST 内に設置する事務所の看板

【お問い合わせ先】

秋田大学国際資源学教育研究センター
TEL : 018-889-2810
FAX : 018-889-3012
E-mail : sigen@jimu.akita-u.ac.jp

●秋田大学と協定を締結している 2 大学

- ・ボツワナ国際科学技術大学 <2009 年締結、2014 年更新>
(Botswana International University of Science and Technology : BIUST)
※秋田大学は開校準備期間より協定を結び、2012 年の開校にも支援した。
※秋田大学博士課程卒業生のイトゥメレン・セイツィロ(Ms.)は、同大学で講師。
- ・ボツワナ大学 (University of Botswana) <2011 年締結>

●秋田大学とボツワナの主な往来

- 2009 年 6 月 モツアハエ 駐日ボツワナ大使の秋田大学訪問
(ボツワナ国際科学技術大学との協定締結について協議)
- 2009 年 10 月 ボツワナ国際科学技術大学(BIUST)との協定締結
- 2010 年 3 月 ボツワナ大学国際交流部長の来学 (ボツワナ大学への支援を要請)
- 2010 年 10 月 ボツワナ国スケレマニ外務・国際協力大臣の来学・講演
(ボツワナ大学への支援を要請)
- 2011 年 3 月 ボツワナ大学と協定締結
- 2011 年 6 月 ケノシ駐日ボツワナ共和国大使の来学
- 2014 年 12 月 ンカテ駐日ボツワナ共和国大使の来学
- 2015 年 5 月 ンカテ駐日ボツワナ共和国大使、ンポトゥエ副大使、ムモワラ鉱物江エネルギー水質資源省副次官と国際資源学教育研究センター長 (当時) らが研究・教育等の協力体制継続について協議
- 2016 年 8 月 国際資源学教育研究センター長 (当時) らがボツワナ大学およびボツワナ国際科学技術大学にて講義
- 2017 年 1 月 マシシ ボツワナ次期大統領と山本秋田大学長、国際資源学教育研究センター長が昼食会で懇談 (東京)
- 2017 年 2 月 ボツワナ大学 1 名、ボツワナ国際科学技術大学 1 名を招へいし、東京・秋田にて国際シンポジウムを開催

●持続可能な国際資源学ショートステイプログラム

秋田大学が 2011 年から毎年実施している約 1 か月の短期研修プログラム。過去 6 年間で計 13 名の学生がボツワナ大学より参加。

●秋田大学に在籍するボツワナ人留学生

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・ケホモディ コイツウエ(Ms.) | 博士後期 3 年 |
| ・リフィリウエ サンドラ マグワネン(Ms.) | 博士後期 2 年 |
| ・コオガンネ アモゲラン(Ms.) | 博士前期 2 年 |
| ・テセレソ ラロナ セトゥニア(Ms.) | 博士前期 1 年 |
| ・コディリルウエ ラボーネ ロライン(Ms.) | 研究生 |
| ・シナイノ ブライアン ビノ(Mr.) | 研究生 |

国際資源学教育研究センター(ICREMER)

(International Center for Research and Education on Mineral and Energy Resources)

●Vision(目標)

資源系教育機関の世界的拠点を目指し、2009年10月に設置した秋田大学の全学センター。国際社会の持続可能な資源開発と資源確保への貢献を図る。

●Mision(使命)

- ・資源保有国の調和ある資源開発に貢献する
(資源保有国の資源系教育・研究機関の能力向上と人材育成)
⇒平成28年度より南部アフリカを重点活動地域に設定
- ・わが国産業の国際競争力の維持と向上に貢献する
(日本国内の資源系人材の養成)
- ・資源学の発展に貢献する
(日本国内外の先進的資源学機関との人材交流と共同研究)

●主な活動

- ・持続可能な国際資源学ショートステイプログラム
(提携している海外の大学等から、資源を学ぶ学生を秋田大学に招聘。ここ数年は7か国15、6人の学生が参加。約1か月間、秋田県内外の関連施設の見学、研究室等における実習を組み合わせた総合的・実践的な人材育成を実施)
- ・国際シンポジウム
(世界各地から、資源分野の先端研究者や提携大学からの共同研究者らを招き、東京・秋田で実施)
- ・資源国に対する人材育成活動
(講義や機材使用方法の使用等の教育活動を継続的に実施)
- ・JICA や国内関連企業等からの研修生受入、技術指導等の実施